

INVITED WORKS -- 招待作品部門

日本映画の最新作をご覧いただくとともに、映画の豊潤な歴史に触れていただくため、今ではスクリーンで鑑賞する機会がめったにないモノクロ映画の傑作を上映します。また、日本の映画人の世代交流の機会を作るとともに映画のつくり方の具体的方法について学ぶ上映&トークの新企画も登場！

BLACK and WHITEの誘惑

【ルビッヂでハッピー!】

観客に想像する愉しみを与えてくれる洗練されたコメディの名手にして、ビリー・ワイルダーや小津安二郎らも心の師と仰いだ、エルンスト・ルビッヂ(1892-1947)。サイレント時代とトーキー時代の名作2本のルビッヂ作品で心を軽やかに！

9月20日[火] 12:00—



『陽気な中尉さん』

トーチー
日本語字幕
1931年 / 61分 / 16mm / 白黒
出演: モーリス・シュヴァリエ、クロード・コルベール、ミリアム・ホフキンス
陽気な中尉はハイオリン弾きの女性と恋に落ちるが、隣国の王女に惚れられてしまう。

【タル・ベーラに痺れる】



9月20日[火] 14:00—

『限りなき鋪道』

サイレント
1934年 / 87分 / 35mm / 白黒
監督: 成瀬巳喜男 出演: 忍節子、篠原秋雄、山内 光
女給の杉子は資産家の息子と結婚するが…。ルビッヂの『陽気な中尉さん』がデート場面に登場。

OPENING NIGHT

特別プレビュー 石井裕也監督最新作

9月20日[火] 18:00—



『ハラがコレなんで』

2011年 / 109分 / 35mm / カラー
出演: 仲里依紗、中村 奎、石橋 凌
仲里依紗演じるヒロインが、妊娠9か月の身で貧乏長屋に引っ越し。義理と人情驚く隣人たちに接し、それぞれの次の第一歩への後押しをする。

©2011『ハラがコレなんで』製作委員会

石井裕也 1983年生まれ、埼玉県出身。これまでの監督作品に『剥き出しにっぽん』(07年)、『川の底からこんにちは』(09年)『あぜ道のダンディ』(11年)などがある。

CLOSING NIGHT

第21回PFFスカラシップ作品お披露目

9月29日[木] 18:30—



『恋に至る病』

2011年 / 116分 / HD / カラー
監督: 脚本: 木村承子 出演: 我妻三輪子、斎藤陽一郎、佐津川愛美、染谷将太
死んでも腐らないよう防腐材入りの物しか選択しない女子高校生が妄想していた、男性教師との性器交換が現実に！ 人格の入れ替わりとは異なる究極の恋愛物語、誕生！
付帯企画 「カルトブランシュ～期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画～」 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

PFFパートナーズ(ひふ、TBS、IMAGICA)提携作品

木村承子 1986年生まれ、茨城県出身。PFFアワード2009にて、処女童貞喪失の通過儀礼を幻想的に描いた『普通の恋』で審査員特別賞を受賞。

9月23日[金・祝] 14:30—

岩井俊二、長谷川和彦に映画を聞く！

「映画監督とは、映画製作とは」

岩井俊二監督が、『青春の蹉跎』をテキストに、ゴジと長谷川和彦監督に聞きたいことのありつけを引き出す。

LESSON
Shunji Iwai

Kazuhiko Hasegawa

岩井俊二 1963年生まれ、宮城県出身。映像作家。近年は活動を国外にも広げ、2010年、『ヴァンパイア』をカナダにて撮影。最新作である小説『番犬は庭を守る』を自身のオフィシャルHP『岩井俊二映画祭』にて近日配信予定。

長谷川和彦 1946年生まれ、広島県出身。これまでの監督作品に『青春の殺人者』(76年)、『太陽を盗んだ男』(79年)、プロデュース作品に石井聰亘監督作品『逆襲射撃族』(84年)などがある。

『青春の蹉跎』 カラー

1974年 / 85分 / 35mm
監督: 長谷川和彦 出演: 沢田研二、菅原文太、池上季実子、伊藤雄之助
司法試験合格を目指す青年が、許婚と妊娠した恋人との狭間で苦悩する姿を鮮烈に描写。突拍子もない要求をして警察を手玉に取る。

『CINEMA LESSON 映画のレッスン』

9月22日[木] 17:30—

塙本晋也、「何がなんでも黒澤明！」

塙本晋也監督が、『七人の侍』をテキストに、黒澤明への敬愛を語り尽す。

LESSON
Shinya Tsukamoto

Tarr Béla

1955年、ハンガリー生まれ。94年に発表した『サタンタンゴ』で世界中を驚愕させて以後、『ウェルクマイスター・ハーモニー』(00年)、『倫敦から来た男』(07年)、ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞作『トリノの馬』(11年)、今秋日本公開予定)と、一切の妥協を排した作品づくりに徹している。

『七人の侍』

1954年 / 206分 / 35mm / 白黒
監督: 黒澤明 出演: 三船敏郎、志村喬、宮口精二、木村功
貧しい農村の民が、野盗の襲撃から村を守るために7人を雇う。黒澤映画の最高峰。世界中の映画人に影響を与えた。

塙本晋也 1960年生まれ、東京都出身。これまでの監督作品に『鉄男』(89年)、『六月の恋』(03年)、『悪夢探偵』(07年)、『鉄男 THE BULLET MAN』(10年)などがある。最新作は『KOTOKO』(エヌチャ国際映画祭、トロント国際映画祭等にて正式上映)。

付帯企画 「カルトブランシュ～期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画～」 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

第1回 9月17日[土] 15:30—

～ロード・サイド～ムービー～
『さらば愛き大地』柳町光男監督
(1982年 / 134分 / 35mm / カラー)
富田克也監督(『国道20号線』『サウザー』他)と
城繁幸氏(人妻コンサルタント、作家)が
セレクト&対談解説

第2回 9月24日[土] 15:00—

～男と女～
『生きてるうちが花なのよ
死んだらそれまでよ父宣言』森崎東監督
(1985年 / 105分 / 35mm / カラー)
河瀬直美監督(『猿の森』『朱の花』他)が
セレクト&解説 聞き手: 木下雄介監督(『水の花』他)

第3回 10月1日[土] 15:30—

～インターネットショナライズされ続ける
日本の未来を綴る、プロフェティック・ムービー～
『スマウティ』岩井俊二監督
(1996年 / 148分 / 35mm / カラー)
VERBAL氏(DJ、音楽プロデューサー)が
セレクト&解説 聞き手: 木下雄介監督(『イエスティディ』他)

前売参加料: 800円(Pコード: 558-346)
当日参加料: 一般: 1000円
小・中・高・大学生、障害者(付添者は原則1名まで): 500円
7月27日(土)チケット販売開始

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター、エイベックス・ミュージック・パブリッシング株式会社、びわ株式会社 企画協力: REAL WAVE

17:30—

『太陽を盗んだ男』を観て、長谷川和彦に聞く！

「太陽を盗んだ男」とは、長谷川和彦に聞く！

Kazuhiko Hasegawa
LESSON
→→ ←←
対談ゲストは
HPにて
発表します！

第33回 PFF ひふフィルムフェスティバル
PIA FILM FESTIVAL

2011年9月20日火→30日金

東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(月曜休館)



主催: PFFパートナーズ ひふ ホリプロ / UNIJAPAN 公益財団法人ユニジャパン

共催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

特別助成: 一般社団法人 映画演劇文化協会

後援: 一般社団法人 日本映画製作業連盟 NPO法人 映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会

特別協賛: SEGA-SAMMY GROUP 協賛: (財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構 協力: 早稲田大学

CoFesta 2011 <http://pff.jp/>

